

小野市議会 5

だより Ono city assembly 2007 / No.126

「安全安心」日本一めざし



市民の安全を守るため決意も新たに「安全安心パトロール隊員出発式」に臨む10人の隊員

見守り活動さらに充実

5台10人で体制強化

■ 日々の暮らしのなかで、市民のみなさまが一番望まれるのは、安全安心が保たれた住みやすい地域です。

■ みなさまの望みを実現するために、パトロール車をこれまでの3台から5台に、パトロール隊員を10人体制にして安全安心日本一のまちづくりをすすめていきます。

第347回 3月定例会

一般質問

- ・ 松本 英昭 ・ 藤本 修造
- ・ 河島喜代美 ・ 加島 淳
- ・ 春名 良兼 ・ 井上 熙
- ・ 竹内 修 ・ 鈴木 元

議案質疑

- ・ 川名 善三 ・ 春名 良兼

議会傍聴

2年連続2000人達成

3月定例会

一般質問発言者

(一般質問・質疑は発言した議員が編集しました)

松本 英昭 議員

- ・ 嘱託職員(自衛隊退職者)による消防署管理業務補充について
- ・ 半鐘の盗難について
- ・ 図書館運営について

藤本 修造 議員

- ・ 7つの政策と50項目の目標について
- ・ 小学校教諭による事件について
- ・ 小野市民病院について

河島喜代美 議員

- ・ もっといいまち「ハートフルシテイおの」を目指した取り組みの中で
- ・ シルバー人材センターについて

加島 淳 議員

- ・ 神戸電鉄榎山駅前整備について
- ・ 「ヒューマンライフグループ」の創設について

井上 照 議員

- ・ 安全安心パトロール車について
- ・ 一時退所者対策について

竹内 修 議員

- ・ 学校図書館図書整備事業について
- ・ 活字文字読み上げ装置について
- ・ 頑張る地方応援プログラムについて

- ・ らんらんバスの更なる利便性向上について
- ・ 障害児童のアフタースクールについて
- ・ 一人暮らしの高齢者対策について

鈴木 元 議員

- ・ 市民病院の現状と今後について
- ・ 多重債務と行政の対応について
- ・ 道路整備について
- ・ 市長提案について

質疑発言者

川名 善三 議員

- ・ 議案第1号小野市一般会計予算について
- ・ 議案第15号小野市副市長の定数を定める条例の制定について

- ・ 議案第16号小野市の組織及びその事務分掌に関する条例の一部を改正する条例の制定について

春名 良兼 議員

- ・ 議案第9号平成18年度小野市一般会計補正予算について
- ・ 議案第26号小野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第41号市有財産の無償譲渡について

第347回 3月市議会定例会

■市議会定例会を2月28日から3月26日までの27日間、開催しました。市長から7つの政策と50項目の目標として、①「美しいまちづくり」②「社会資本の更なる充実(住みよいまちづくり)」③「安全安心のまちづくり」④「子育て支援、高齢者・障害者対策の充実(人にやさしいまちづくり)」⑤「先進的な教育の推進(人を育てるまちづくり)」⑥「健康づくり、コミュニティづくり、賑わいづくりの展開(賑わいのまちづくり)」⑦「更なる行財政改革(無駄のないまちづくり)」を掲げた所信表明がなされ、提出議案については、19年度一般会計予算、特別会計予算、企業会計予算、18年度補正予算、条例制定、人事案件など51件を原案どおり可決しました。

●議員提出議案4件の主な内容

- ・ 委員を議員定数18人にあわせ、3委員会とも6人にしました。
- ・ 委員の申し出により、委員会の所属を変更することができるようになりました。
- ・ 委員会から議案の提出ができるようになりました。
- ・ 政務調査費を年額24万円(従前12万円)に引き上げ、領収書添付を明文化しました。
- ・ 議員の期末手当5%削減を、従前に戻しました。



*コミュニティセンターおの「コミュニティレストラン陣屋」がオープンし、3月26日から営業をはじめました。

ますます賑わう 市内のコミュニティー センター

県が全額を補助する「県民交流広場事業」の補助を申請して、コミュニティセンターおのが取り組んだ事業で、レストランの整備費が2,200万円、活動費が400万円、合計2,600万円の事業となっています。平成19年度にはコミュニティセンターかわい、同センターきすみの事業が予定されています。

ご意見をお待ちしています。議会のメールアドレス: gikai@city.ono.hyogo.jp



新生クラブ

松本英昭 議員

図書館運営について

嘱託職員(自衛隊退職者)による
消防署管制業務補充について

質問 消防署管制業務に嘱託職員を採用するメリットについて伺います。

答弁 嘱託職員にできる補助業務に充て、効率的な人員の配置をするもので、火災・救急・救助等の現場活動要員を確保し、消防研修機関へ職員派遣をする人材育成が可能となります。(消防長)

質問 消防管制補助業務に自衛隊退職者を充てる理由はなにか。

答弁 自衛隊員は主要な業務として、国民を災害から守るための救助活動に従事しており、消防管制業務を遂行するうえで、この経験や通信等の職務経歴を活用することが可能です。(消防長)

質問 未返却図書はどう措置しているか。

答弁 15日の貸出期間が過ぎると、2週間後から、電話により返却催促をしています。5ヶ月を過ぎた方には封書による督促を行っています。(教育次長)

質問 5ヶ月以上経過は長すぎるのではないか。

答弁 短期間に未返却処理をするように指示をします。(市長)

質問 図書紛失による対応について

答弁 貸出期間中の紛失は、図書館規則に基づき、すぐに紛失届を提出していただくとともに、指定する資料の賠償請求を行っております。(教育次長)



市民クラブ

藤本修造 議員

7つの政策と50項目の
目標について

質問 更なる行財政改革により、今後4年間で50億円の経費削減の行政手法を伺います。

答弁 ①入札制度の改革の継続により28億円、②ワークシェアリング・派遣職員の活用・外部委託による職員の削減で15億円、③その他事務事業の合理化・経費削減で7億円、合計50億円です。(総合政策部長)

質問 蓬萊市政3期目のスタートにあたり、「声なき声を市政に反映」とあります。いかなる手法により行政に反映させ、成果を出されるのか伺います。

答弁 ①自分への戒めの意味も込めて、おごることなく謙虚に耳を傾け

る。②現体制に何も言わない多くの市民「サイレントマジョリティ」は満足していると解さずに、「声なき声」いかにして集めていくかが重要なところです。(市長)

小学校教諭による事件について

質問 小学校教諭による事件後の再発防止対策について聞きます。

答弁 ①学級担任が入れ替わる「交換授業」を取り入れ、高学年授業に「学級担任制」から「教科担任制」を導入、一学級を複数の教職員で授業を行う。

②教職員が仲間の不祥事を見抜けなかった学校風土に「しない、させない、見逃さない」職場環境づくりを行う。

③児童・保護者からの情報、相談、苦情、学校評議員による学校外評価活動、結果を公表して、チェック機能の強化を図る。(教育長)



新生クラブ

河島喜代美 議員

女性の参画について

質問 各種審議会等における女性委員選任の現況と、今後の対策について伺います。

答弁 平成17年度末現在、審議会等委員748名中、女性委員は195名、26%です。これは「指針」に基づく目標の20%を達成しています。

しかし、審議会ごとでは48のうち、「区長会」など12の会が未達成のため、その対策として、達成期限の再設定や、担当部署の「改善計画書」により、その責務を明確にしております。

女性委員の拡大には、皆様の積極的な参画が必要であることをご理解いただき「緩やかに着実に」前進させたいと考えています。(助役)

質問 女性管理職の状況と自治会女性役員の登用対策を伺います。

答弁 小野市では、女性管理職が20%を超え、県下最高となっております。任用については、実力成果主義の下、方針管理により、目標を立て、成果に基づき行っているものです。

市内には、約90の自治会につきましても、いまは男社会の名だたる組織ではありますが、小野市の女性は、ボランティアやコミュニティ活動に積極的に参加されています。自治会におきましても、女性の副区長登用にご理解をいただけるのなら、必要な経費を市で援助することも可能、との思いは変わりません。自治会で女性の発言やアイデアが地域行政に反映できると考えておりますので、副区長制度が浸透することで、女性の進出が大きく拡大すると期待しています。(市長)



新生クラブ

加島 淳 議員

神戸電鉄榉山駅前整備について

質問 榉山駅周辺整備事業の進捗状況と駅舎利用計画についてお伺いしたい。

答弁 神戸電鉄榉山駅は一日当たり約500人の利用があり小野市の主要な駅の一つです。

そこには、駐輪場、送迎者用のスペースがないために、本年度は駅周辺の用地取得を行います。対象用地2件はすでに取得が完了、残りの1件は本年5月に取得できる予定です。平成19年度に基本計画及び実施計画の策定を行い、20年度に事業が完了します。駅舎利用計画については「榉山駅周辺まちづくり懇話会」と調整を図りながら駅周辺の活性化を目指し、協議を進めていきます。

(総合政策部長)

質問 新設の「ヒューマンライフグループ」の、具体的内容と、生徒・保護者及び教育委員会に対する効果についてはどうか。

答弁 市民安全部に「いじめ担当グループ」「人権啓発グループ」「男女共同参画グループ」を設け、組織が一体的に活動し、いじめ問題を一過性に終わらせないよう、またどのような情報も漏らさず吸い上げること、受け皿となる体制をつくります。いじめ担当グループでは専門相談員を配置し、将来24時間体制をめざします。

市に相談窓口があることにより、いじめの被害者や発見者が気軽に相談しやすい環境となり、いじめの初期段階での対応ができ、大きな効果が見込めます。緊急を要する相談があれば、関係する部署を集め対策会議を開催し、指導にあたる先生のサポート・指導内容のチェックに努めます。(総合政策部長)



民主クラブ
井上 熙 議員

安全安心パトロール車について

質問 3台から5台へ増車予定の安全安心パトロール車ですが、防犯のため、夜間巡回体制を充実すべきと思いますが、どうか。

答弁 防犯は、警察、行政そして地域の方々による三位一体の取り組みが重要であり、また、地域防犯団体等との協働と支援、そして住み分けも重要です。

夜間巡回体制の充実については、21時45分まで行っているパトロールを週二日から更に充実いたします。
(市民安全部長)

一時退所者の対策について

質問 老人保健施設等の一時退所者を、再度入所する間、市民病院で受け入れてみてはと思いますが、

どうか。

答弁 入所待機のために一時的に受け入れることは、急性期治療を対象とした病院の目的や制度の主旨にそぐわないのではないかと、思われます。
(市民福祉部長)

質問 一時預かり所として、類似した施設等を建築される計画の有無はどうか。

答弁 平成19年度から小野市が指定した事業者により、「通い」を中心に「泊まり」や「訪問」を組み合わせた小規模多機能型居宅介護サービス事業所を市内二箇所開設します。これは、一時預かり所としての目的を有する施設ではありませんが、その利用が小野市の被保険者に限定されることから、入所待機期間の短縮や待機者の減少につながると思われまます。
(市民福祉部長)



公明党
竹内 修 議員

**らんらんバスの市民病院
乗り入れについて**

質問 市民病院内へのらんらんバスの乗り入れを望む声が多いが、市としての考えをお聞きしたい。

答弁 安全性の確保や交通に対する影響などから現段階での乗り入れは難しい。今後の課題としてとらえ案件整備を整えた後、乗り入れについて検討します。
(総合政策部長)

**活字文書読み上げ装置の
導入について**

質問 視覚障害者の方々への即時性のある情報提供方法の一つに公的窓口への設置に対する助成や補装具費(購入費、修理費)の助成対象となっている「活字文書読み上げ装置」がある。公的窓口への導入や普及に對

する考えをお聞きしたい。

答弁 現在、活字による情報提供が困難な視覚障害者の方々には、ボランティアの方に協力いただいて点字と音声テープによる広報など情報提供を行っています。助成金を活用、「活字読み上げ装置」を導入し、普及をはかります。
(市民福祉部長)

一人暮らし高齢者対策について

質問 一人暮らしの高齢者の方が、誰とも話さず一日を過ごすことがないよう宅配業務企業なども活用「一日一回ピンポン運動」のようなものが展開できないか。

答弁 行政に限らず、地域住民や民間企業が合同で支える仕組みができれば素晴らしいことです。「ハートフルシティおの」の名にふさわしい環境を整えるため、前向きに検討します。
(市民福祉部長)



日本共産党
鈴木 垣 元 議員

市民病院の現状と今後について

質問 医師不足が重大な社会問題となっているが、小野市民病院への影響はどうか。

答弁 医師不足により平成17年から産婦人科の廃止、昨年からは放射線科の常勤医師が不在となっておりますが、放射線科は非常勤医師の派遣と遠隔画像診断システム導入により診療に支障はきたしておりません。また、医師の数は、平成15年までは30名、現在は37名であり、医師数は減少しておりません。

(市民病院事務部長)

質問 医師不足が過密労働を生み、さらなる医師不足を招くという悪循環が医療現場で起きているというが、小野市民病院はどうか。

答弁 医師の時間外労働は、月平均

59時間ですが、きつい状況にあります。近隣市では「燃えつき症候群」の医師もでてしていると聞いていますが、小野市では、医師が倒れたら市民に迷惑がかかるので、そこまでプレッシャーをかけておりません。

(市民病院事務部長)

質問 北播磨地域にある5つの公立病院と2つの公的病院は、地域医療を担いながらも、厳しい病院経営を余儀なくされている。そのため、過剰投資を避け経営改善を図るためそれぞれの病院に特徴を持たせ、地域全体として安心できる医療の確保が模索されていると聞くが、どうか。

答弁 医師不足は国の大きな問題。北播磨の公立病院は、医師数が減少、勤務医の確保が急務になっていきます。4月には北播磨5病院の市長が病院経営について本音で話し合います。課題を整理のうえで大学や県当局と話し合い、近隣市長と連携を取りながら進めていきます。

(市長)



公明党
川名善三 議員

平成19年度

一般会計予算について

質疑 自立支援医療費助成経費四百万円の具体的内容について

答弁 障害者自立支援法が施行され、一割が自己負担となっています。本市の福祉医療助成制度は、国や県などの公費助成のある医療については助成対象としていないため、制度上の不均衡が生じていました。これを平成19年度から、障害者施策の充実を図るため、自己負担額を全額助成しようとするものです。

(市民福祉部長)

質疑 特定疾患治療研究等医療費助成経費二百万円の具体的内容について

答弁 福祉医療費の助成対象としていない、「小児慢性特定疾患治療研究事業」「特定疾患治療研究事業」

にかかる医療費の自己負担額を全額助成するものです。この難病患者の皆様に対する助成制度も県下の市・町に先駆けて行うものです。

(市民福祉部長)

組織及びその事務分掌に関する
条例の一部改正について

質疑 「ヒューマンライフグループ」が新たに設置されるが「いじめ」「人権啓発」「男女共同参画」を一元化して取組む効果について

答弁 いじめは学校や子供に限らず、人権問題全体を考える組織づくりが必要であるとの下に専門組織の創設を行うものです。一元化の効果として①情報をすばやくキャッチし迅速に処理できる。②被害者や発見者が気軽に相談でき、学校へのチェック機能を持てる。③市民安全部に包括、安心安全パトロールとの連携により、迅速、丁寧な対応が可能となる。

(総合政策部長)



議案質疑

日本共産党

春名良兼 議員

市有財産の無償譲渡について

質疑 施設を一体的に利活用することにより、市内商工業の振興に資するためとあります。建物は、22年が経過しています。現在までどのような活用をされ市民の利用状況はどうなっていたのか、市所有物件を無償譲渡した場合、市民に不利益は生じないのか、伺います。

答弁 当施設は商工業者、又は商工関係諸団体の行う講習会、研修会、展示会等に活用され、18年度利用状況は19年1月末現在で、124件8千468人のうち公的利用が88件全体の71%利用です。補助金を支出する代わりに建物の一部を「小野市商工業振興センター」として市が買い取ったという経緯があり、その維持管理は、当初から商工会議所へ委託

していますが費用は現在まで22年間、実質、すべて商工会議所が負担しています。

市所有物件として残せば、施設の老朽化とともに、今後、修理や営繕費用の負担を市に求められます。また、「うるおい交流館エクラ」の建設や、市民会館のリニューアルなど市の会議室等の施設も充実してきており、譲渡しても市民サービスの低下は招きません。

商工会議所は公的な団体で、小野市の商工業活性化のために、今まで以上に活用することが当初からの目的となっており、商工会議所の公的存在、今後の修繕費等の発生、現状の管理状態から判断して、無償譲渡しても小野市の損害は発生しないという顧問弁護士の見解もあることから、無償譲渡しても市民に不利益は生じないと判断しています。

(地域振興部次長)

議員は、

政策条例立案能力

が求められている

地方統一選挙が終わり、小野市議会も新たに選ばれた議員18名が、今日、5月1日から、市民のみならず、さまざまな代表として、議員活動に励み、分権時代の「議会のあり方」を追求し、時代に沿った議員像を模索し改革に取り組んでいます。

議会の機能のひとつには、議決機関であり、条例の制定など団体としての意思の決定を行います。二つには、監視機能として、市長の行政執行を監視すること、これをチェック機能とも言います。これ

議決機関の使命は、条例の制定・

議員能力イノベーション

改革、そして予算を定めることではありますが、予算は市長が提出権を持っていきます。しかし、条例制定は、議員定数の12分の1以上の賛成で提出することができます。また、常任委員会にも議案提出権が認められるようになりました。

小野市議会議員のこれからの課題は、議員提案による政策条例の立案であり、このために議員は、政策形成能力が必要とされ、市民からは、その努力と目に見える成果が求められています。

今年も「託児コーナー」開設

県下で始めて議会開催中、お子さまをお預かりする「託児コーナー」を開設しましたところ、平成18年度は、延べ5名のお子さまをお預かりすることができました。

次回は、6月に議会を開催いたします。4月22日の市議会議員選挙改選後初めての本会議になります。

ぜひ、お子さまを預けていただき、議員の質疑・質問をご覧くださいますよう、ご案内いたします。詳しくは、10ページの託児コーナー「お子さまをお預かりします」欄をご覧くださいのうえ、お申し込みください。

員会意見

19年度予算案を審査

総額 397 億円



オープンして2年が経過したうるおい交流館エクラ

子育て支援など 福祉施策を充実

委員長に松本英昭議員、副委員長に竹内修議員を選任した「予算特別委員会」は、3月14、15、20日に開催、議案第1号から議案第8号の8議案の審査を行い、議会の持つ批判・監視機能を駆使し、平成19年度予算が、今後、市政の運営にどう反映するのか、市政をどのように運営していくのかなど、活発に意見を述べました。指摘のあった主な意見は下記のとおりです。

総合政策部

◎うるおい交流館エクラがオープンしてから2年が経過し、管理運営も軌道に乗ってきたが、市民活動の拠点として、なお一層、親しまれる交流施設を目指すとともに、市民の利便性が向上するようエクラで働く職員の研修体制の整備・充実についても、よく指導されたい。

市民安全部

◎平成16年度から実施している安全安心パトロールは、犯罪の抑止や児童生徒の通学時の安全確保などパトロール中における見守り活動に大きな効果をあげているが、平成19年度においてパトロール車を2台増車し5台10人体制に増強するようであるが、更なる市民の安心感向上のため、パトロール車の将来計画・運行計画を取りまとめられ、安全安心のまちづくりに向け努力されたい。

総務部

◎現在取り組まれている国際交流事業は、日本で暮らす外国人との交流や姉妹都市リンゼイ市との親善が推進されているが、世界がますますグローバル化へ動いており、小野市においてもさらに国際交流の輪を広げるために、東南アジアの国々との友好都市提携も視野に、いれ、より一層、国際交流に努められたい。

◎住宅再建共済制度加入促進事業は、県肝いりのいわゆるフェニックス共済制度に、小野市民が加入しやすい制度として独自補助を打ち出した事業であるが、この仕組みを、地域住民に効果的にPRされ、目標とする加入率30%を達成、県下一と成るよう格段の努力をなされたい。

予算特別委

●一般会計	181億円
●特別会計	118億円
●企業会計	98億円
●総額	397億円

福祉予算が全体の43%を占める



緑に囲まれた、こだまの森グラウンドゴルフ場

ている。市民だれもが安心して暮らしていけるやさしい社会、ハートフルシティおのの実現を目指し、引き続き、福祉政策を根底にした予算編成に努められたい。

とともに、医業収益を向上させ、より均衡の取れた病院経営に努力されたい。

◎2億円という多額の費用を投入してオーダリングシステムを導入されるが、投資効果を市民に具体的に見える形で掲示され、診療・検査・医事の連携のもと、待ち時間の短縮に向け、なお一層の力を尽くされたい。

地域振興部

◎全日本グラウンドゴルフ協会の公認を取得した「こだまの森グラウンドゴルフ場」は、市内外の利用者からの評判も高く、小野市をPRする絶好の場であり、公認の名に恥じないコースのメンテナンスを行うとともに、気持ちよくプレーしていただくよう施設の整備には、細心の注意を払われたい。

消防本部

◎地域住民による初期消火は重要であるが、各町に設置されている消火器ボックス内の筒先は、水力の拡散ができないノズルとなっており、初期消火に威力を発揮する水力調整機能がついたノズルに交換するよう各自治会と協議されたい。

市民福祉部

◎子育て支援・生涯福祉・高齢者福祉など福祉施策に予算総額の43%にあたる170億円が投じられているようであるが、福祉施策は、国を始めとして年々、運営されながら制度変更をされている状況であり、福祉施策を市民にわかりやすい仕組み、システム作りをされ、

小野市の先進的な取り組み施策を積極的にPRされたい。

市民病院

◎形成外科開設は、北播磨の公立病院初となり、小児科、眼科に続き、形成外科についても北播磨地域の拠点病院となるよう、市民はもとより近隣市町の住民、また開業医

◎学校耐震化5カ年計画がすすんでいるが、震災はいつ起こるか予測ができない現在、一日でもはやく、補強工事を完成させると同時に、安全宣言を行い、児童生徒が安心して学ぶことができるよう格段の努力を尽くされたい。

教育委員会

◎障害者自立支援法が施行されたことにより、19年度予算は、各市とも独自の福祉支援策を打ち出しているが、本市においては、他市に先駆け小学校6年生まで医療費の完全無料化を図るなど、とくに福祉政策を重点とした予算を計上し

院にも広くPRされ、北播磨の中核病院として、住民の生命を守る

●常任委員会審査報告●

3月定例会で付託された案件については、23日に総務文教、民生保健、地域振興の各常任委員会を開催し、議案第15号から第46号まで、計31議案について、市当局から詳しく説明を受け、そのあと慎重に審査をいたしました。

○総務文教常任委員会（松本英昭委員長）に付託された14件の議案については、審査をする過程において、とくに指摘事項、反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決定しました。

○民生保健常任委員会（竹内 修委員長）に付託された12件の議案のうち議案第26号小野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についての審査では、「国民健康保険税の介護保険納付金課税額を改正されるが、市独自に市民の健康を促進させる政策を進めるなど、給付費等が



小野商工会館（上）
4階の商工業振興センター会議室（下）

削減するよう検討されるとともに、市民負担についても近隣市以下とするよう努力されたい」との意見がありました。
同議案第26号については、反対討論があり、採決の結果、賛成多数により可決すべきと決定しました。他の11議案については、全会

一致で可決すべきと決定しました。
○地域振興常任委員会（春名良兼委員長）に付託された5件の議案のうち、議案第41号市有財産の無償譲渡についての審査では、「市有財産として22年間管理していた小野市商工業振興センターを、商工業の振興に供する目的で、商工会議所に無償譲渡するについては、今後、登記等の諸々の経費がかかるとも、市に負担がかからないよう対処されたい」との意見がありました。全議案5件について反対討論はなく全会一致で可決すべきと決定しました。

議会開催中 お子さまをお預かりします

6月20日(水)

21日(木)

6月定例議会では、「託児コーナー」を開設します。託児コーナーは、議員から市長へ質疑と一般質問がおこなわれる6月20日(水)、21日(木)の2日間で、いずれも10時から正午までの2時間です。

1歳から就学前までのお子さまの保護者の方が対象です。ご希望の方は、6月13日までに、議会事務局（電話番号 63-1006）へお電話でお申し込みください。

託児のお世話をしていただくのは、託児ボランティアグループ・小野託児サークル「このゆびと～まれ♪」のメンバーのみなさまです。

（当日、託児の受付はできません。あらかじめお申し込みくださいますようお願いいたします。）



政務調査費

平成18年度 収支を報告します

- 新生クラブ＝ 研究研修費：**北播磨広域行政研究会会費
調査旅費：茨城県牛久市・埼玉県草加市・愛知県犬山市での視察研修旅費
 内容は、牛久市では・総合窓口化について、・官学連携協働による行財政改革について、草加市では・行政情報ネットワークシステムについて、・行政改革特区について、犬山市では、・構造改革特区について、・地域再生計画についてを研修しました。
資料購入費：事務用品費
広報費：会派ホームページ企画作成費
- 民主クラブ＝ 調査旅費：**宮城県岩沼市での視察研修旅費（民主クラブ、市民クラブ、公明党合同研修）
 内容は、行政評価システムについて、議会運営についてを研修しました。
- 市民クラブ＝ 調査旅費：**民主クラブと同じ。
資料購入費：図書購入
広聴費：日刊新聞購入
- 公明党＝ 調査旅費：**民主クラブと同じ。
資料購入費：図書購入
広報費：広報紙作成費
- 日本共産党＝ 調査旅費：**広島県三次市・三原市での視察研修旅費
 内容は、三次市では・農業施策について、三原市では・水道浄水についてを研修しました。
資料作成費：議会報告書印刷費
資料購入費：図書購入費
広報費：議会報告書郵送料

国は、地方分権時代に基づき地方自治法を改正して、地方議会に関する制度改正を実施してきました。制度改正のひとつに地方議員の調査研究を積極的に行うことを目的にした政務調査費がありますが、平成12年に政務調査費を交付するとした制度の改正を実施しました。これにより、政務調査費は、その額を条例で、近隣の自治体や財政状況などを考慮して地方議会が独自に決めることができるようになりました。小野市議会では、平成14年4月に年額一人12万円に、19年5月からは年額一人24万円と定め、会派に交付するとして小野市政務調査費の交付に関する条例を制定しました。

政務調査費の収支報告書は、議長に提出するとしていますが、小野市議会では、透明性を高めるために広く議会のホームページ、議会報にも収支報告書を掲載することにしていきます。平成18年度の政務調査費収支報告につきましては、下記の表のとおり、公開いたします。

◎ 平成18年度政務調査費収支報告書 ◎

		新生クラブ9名	民主クラブ3名	市民クラブ2名	公明党 2名	日本共産党2名
収入	支給額	1,080,000	330,000	240,000	240,000	240,000
	研究研修費	10,000				
支出	調査旅費	957,046	208,254	206,380	201,874	64,650
	資料作成費			3,045		150,150
	資料購入費	33,197		31,400	24,565	19,057
	広報費	30,000			84,000	77,480
	広聴費			20,045		
	計	1,030,243	208,254	260,870	310,439	311,337
差引額		49,757	121,746	-20,870	-70,439	-71,337

※支給額がオーバーした会派は、そのオーバー額を議員が個人負担しています。また、余りがでた会派は、市へ返還しています。
 民主クラブの差引額プラス分は、病氣療養中の議員が、調査に不参加のため不用になったものです。
 民主・市民・公明合同研修の調査旅費の差異があるのは、自宅からの交通旅費計算によるものです。

●今期市議会で可決された主な議案●

市長提出議案

- ・平成19年度予算
 総額 396億5,000万円
 〈一般会計〉 180億5,000万円
 〈特別会計〉 117億6,000万円
 〈企業会計〉 98億4,000万円

【新年度の重点事項】

- 〈子育て支援など福祉・教育の充実〉
- ・小学6年生までの医療費の完全無料化
1億1,800万円
- ・自治会の子育てひろば整備への助成
2,000万円
- ・児童手当の拡大
7,140万円
- ・高齢者介護福祉施設の整備
3,400万円
- ・学校耐震化の促進
3,900万円
- ・小学校4校のコンピューター教室パソコンの一斉更新
6,000万円
- 〈都市機能と生活空間の充実〉
- ・大島区画児童公園の整備
3,850万円
- ・王子南地区区画整理事業の推進
3,300万円
- ・粟生駅前公園の整備
2億5,594万円
- 〈安全・安心社会の推進〉
- ・水槽付消防自動車の配備
3,645万円
- ・安全安心パトロールの拡充
3,040万円
- ・市街地の防災拠点の整備
7,460万円
- 〈“ガーデニングシティおの”の推進〉
- ・桜づつみ回廊の整備
3,000万円
- ・ひまわりの丘公園周辺の道路整備
6,500万円
- 〈協働と参画の実践〉
- ・コミュニティセンターかわい・きすみの改修
2,500万円
- ・うるおい交流館「エクラ」のNPOによる管理運営
1億2,500万円
- ・第30回記念小野まつりの充実
3,500万円
- ・小野市公平委員会委員の選任について
黒川町 松永美由紀氏（再任）
- ・小野市教育委員会委員の任命について
丸山町 陰山 茂氏（再任）

◎議会の動き◎

【2月】

- 1日～2日
埼玉県大利根町議会視察受け入れ
市議会議員共済会理事会・代議員会
（東京都）
- 7日～8日
全国市議会議長会基地協議会総会
（東京都）
- 7日 広島県大崎上島町議会視察受け入れ
議員協議会
- 9日 兵庫県市議会議長会総会（神戸市）
- 13日 神奈川県寒川町議会視察受け入れ
議会運営委員会
- 14日 議員協議会
- 15日～16日
広域行政圏市議会協議会総会（東京都）
- 19日 総務文教・地域振興常任委員協議会
- 21日 議会運営委員会・会派会
播磨内陸医務事業組合議会
- 22日 小野加東環境施設事務組合議会
- 26日 議員協議会
- 27日 北播衛生事務組合議会、北播肢体不
自由児機能回復訓練施設事務組合議
会
- 28日 本会議（第1日）

【3月】

- 2日 小野加東広域事務組合議会
- 9日 本会議（第2日）、議会運営委員会
会派代表者会
- 12日 本会議（第3日）
- 14日 予算特別委員会
- 15日 予算特別委員会
- 20日 予算特別委員会、議会運営委員会
- 23日 総務文教・民生保健・地域振興常任
委員会
- 26日 本会議（第4日）

【4月】

- 4日 東播淡路市議会議長会事務局長会
- 11日 東播淡路市議会議長会総会
- 13日 市議会報編集委員会
- 19日 福井県越前市総務委員会視察受け入れ

■4月22日投票の小野市議会議員選挙により、18名の新しい議員が決まります。任期は、5月1日から4年間です。5月10日に臨時議会を開催して、正副議長などの新役員が選任され議会運営が始まります。

質疑、一般質問があります。

本会議の第2日、第3日は、議員の

27日(水)	25日(月)	21日(木)	20日(水)	11日(月)
本会議第4日	常任委員会	本会議第3日	本会議第2日	本会議第1日

6月定例会日程

5月臨時会日程
5月10日(木) 臨時本会議

5月臨時会・6月定例会の日程が決まりました。